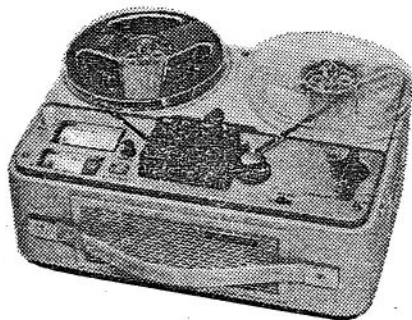


国内新製品紹介

ソニーのテーブユダー “103”

ラジオ付きのテーブレコーダーで、押ボタンひとつでラジオにも録音機にもなり、ラジオからの録音も簡単にできる。トランジスター・ラジオ部は3石スーパーのチューナー部が内蔵され、これにフェライトバー・アンテナが取り付けられているので録音機からのビートは完全に防止され、良質のラジオ録音ができる。受信周波数帯は535~1605 kcである。録音機の方は6AV6, 6AU6, 6AR5, 5MK9に2SD64, 1T23を使っている。つまりプリアンプ部には低雑音のトランジスターを使い、さらに交流バイアス法を採用しているから、ノイズやハムのないHi-Fi音で録音再生ができる。

テーブ速度は19 cm/秒と9.5 cm/秒の2スピードで、7型テーブがかけられるから1巻で往復2時間の録音ができる。周波数範囲は19 cm/sのとき50~1100 cm/s, 9.5 cm/sのとき50~8,000 c/s, 出力は最大2.5 W, ワウ・フラッターは0.3%以内となっている。入力ジャックはマイク用, ハイレベル用各1個, 出力ジャックは外部スピーカー用(8Ω)1個である。内蔵スピーカーは10×15 cm(8Ω)の楕円型である。録音レベルの指示にはレベル・メーターが使われている。なお本機は、チューナー部、アンプ部がすべてプリント配線となっている。また、8ミリ映画との同期装置ソニー・ムービーシンクが付属している。消費電力は約57W。外形寸法は幅370×高さ170×奥行310 mmで、重量は約9.5 kg(付属品は別)。定価は¥39,800。

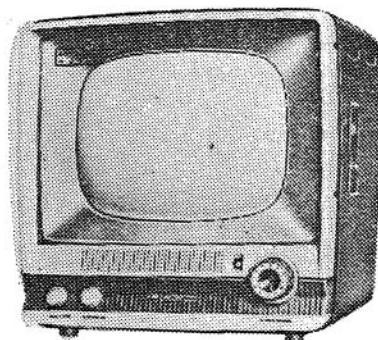


(品川区北品川6の351 Tel: 421-5111)
ソニー K.K.

オンキョーの新製品2種

●14型テレビ “OT-14FV”

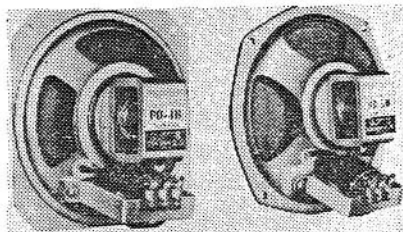
前面にスモークド・ガラスを使用した受像機である。木製のキャビネットに収められ、15×10 cmのノンプレスコーン使用のスピーカーが使われている。ブラウン管は14WP4(90°, メタルバック)で電磁偏向方式のもの。音声出力は最大2.0 W, 消費電力は140 VAである。キャビネット側面にはイヤホン・ジャックがついている。外形寸法は横460×高さ470×奥行460 (mm)で、重量は22 kgである。定価は¥52,000。



●小型スピーカー 2つ “PD-4B, PD-5B”

PD-4Bは口径10 cmで、周波数範囲は150~8,000 c/s(±7 dB), f_0 は200 c/s, 出力音圧レベルは94 dB/W, 許容入力2.0 W, VCインピーダンス8Ω, 付属OPTの一次は2.5 kΩ, 5 kΩまたは5 kΩ, 8 kΩ, 外径は102 mm, 奥行53 mm, 重量は291 gr. パッフル開口直径は92 mm. 定価は¥550である。

PD-5Bは口径12 cm, 周波数範囲は120~10,000 c/s(±7 dB), f_0 は170 c/s, 出力音圧レベルは94 dB/W, 許容入力2.0 W, VCインピーダンスは8Ω, 付属OPTの一次側は2.5 kΩ, 5 kΩまたは5 kΩ, 8 kΩ, 外径は119 mm, 奥行57 mm, 重量298 gr. はパッフル開口直径は103 mm. 定価は¥580。



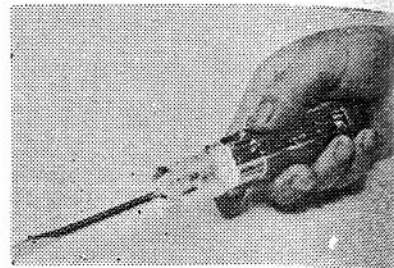
(大阪市旭区大宮西之町5の32)
大阪音響 K.K.

スター・ドライバー

ラジオ、テレビ、通信機の修理や点検、停電時におけるヒューズの取換えなど、光の届かぬところ、暗いところで使うのに便利のように、握柄の前面にランプがつくようになっている。高性能のプラスチック・メタクリル酸樹脂の握柄に各種の刃先が簡単に交換取り付けできるようになっており、ドライバーの刃先を差込む個所はレンズ状になっており、握柄の内部で点灯された光は、このレンズ状を透過して刃の先端に集光されて対照物を明瞭に見ることが出来る。本ドライバーはJIS規格に準じて作られており、捻り試験では100 kgの耐捻力をもっている。照明範囲は直径25 mm前後、照明時間は連続点灯で約3時間である。現在、国鉄や電電公社などで大量に使用されており、用途は仲々

広いようである。

刃先は+ネジ用1種、-ネジ用2種、それに電球1.1 V用(予備電球とも)2個、単三電池1個が1セットになって、ビニール・ケースに入っている。定価は¥550。



(東京都千代田区神田司町1の21)
Tel: 231-7947)

K.K. ジャパン・エレクトロ(発売元)

コロムビアの新製品2種

●ステレオ電蓄 DSC-533 シリーズ

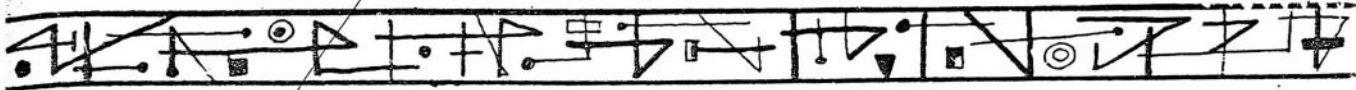
4個のスピーカーを配してDSC方式(立体感調節装置)の効果をあげたステレオ電蓄である。スピーカー・ボックスつきステレオ・アンプ部のSSA-533は、535~1605 kcと3.8~12 Mcの受信周波数帯をもつチューナーもついている。使用真空管は12BE6×2, 12BA6×2, 12AV6×2, 30A5×2で、整流はシリコン整流器である。出力は無歪で2W-2W, 最大で3W-3W, 消費電力は50 Wとなっている。スピーカーは左右のボックスにそれぞれ2 cmと6.5 cm型が収められている。

プレーヤー部はSTL-533は16 2/3, 33 1/3, 45, 78 rpmの4スピードで、モーターは4スピードのリム・ドライブ、平衡型である。速度微調節にはマグネチック・レギュレーターが使われている。ターンテーブルは直径17 cmである。ピックアップはターンオーバー・クリスタル型である。全体としての大きさは、幅1140×高さ750×奥行350 (mm)で、重量は24.8 kgである。現金正価は¥29,800。

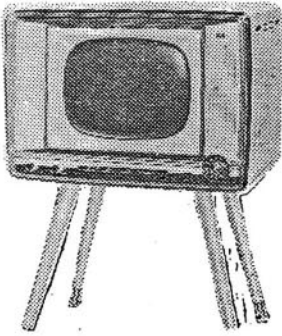


●回転台つき BDL テレビ “14T586”

BDLとはBlack Day Lightの略で、目



が疲れず画面に奥行きを与える BDL スクリーンが使われている。また画面の両側に前向きに取付けられた 2 個の長楕円型 (22×8cm) スピーカーは、14 型テレビの聴視距離である画面前 2~5m の位置に集中するような角度に取付けてあるので、臨場感のある音の集中効果が得られる。回路の内容としては高感度真空管 7DJ8, 6DK6 の採用により超遠距離用となっているほか、自動感度調整 (平均値型 AGC)、自動画面安定回路方式 (鋸歯状波位相検出型 AFC) がついている。またプレーヤー接続端子、イヤホン出力端子も 2 個ついている。キャビネットはグレイの縮緬塗仕上げで脚高 395mm の回転台の上についている。キャビの外形寸法は幅 600×高さ 440×奥行 445(mm) で、重量は 27.5kg である。現金正価は ¥59,800。

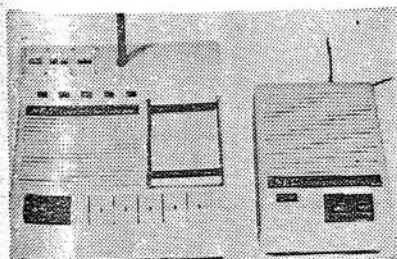


(川崎市港町 125)

日本コロムビア K. K.

NEC の 5 局用インターホン

トランジスターによるインターホンである。呼出し音はトランジスターによる発振音式になっているから、従来のプザー方式に比べて電池の消耗はきわめて少ない。呼出しは親器からも子器からも相互に行うことができる。本機には話中表示回路があるから、通話中であれば子器のパイロット・ランプが点灯し話中であることを明示する。親器のパイロット・ランプも同時に点灯する。また親器から全部の子器に対して一斉通話をすることもできる。配線は二線式で、親器には中継端子も付属しているから配線はきわめて簡単である。操作はすべて押ボタンによって行われる。本機には盗聴防止回路がついている。親器にはメモ台 (右側) と回転式カレンダー (左上) もついている。使用トランジスターは 2SB115×2, 2SB113 の 3 個にサーミスター D-32S 1 個である。使用スピーカーは親器、子器ともに 9cm 丸型で、呼出用には 5cm 丸型のクリスタル・スピーカーが使われている。出力は 150mW。プレス・トーク方式である。キャビネットの寸法は、親器が幅 190×高さ 119×奥行 210mm、子器が幅 110×高さ 88×奥行 170mm である。電池は単二×6 の 9V が使われている。定価は親器が ¥18,000 で、子器は 1 台あたり ¥3,000 である。



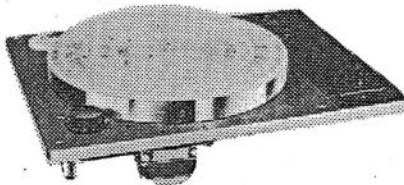
(東京都港区芝新橋 6-22)

新日本電気 K. K.

KS の新製品 3 種

●フォノモーター “L-88”

希望の 30cm ビックアップが楽に取付けられる大きな鉄ボードで、ビックアップ取付位置には美麗で強靱なメラミン・プラスチック化粧板がついている。主な規格を列記すると、モーターは四極インダクション型、ワウは 3kc にて 0.25%、ターンテーブルはジュラ鋳物 (30cmφ, 1.5kg)、消費電力は 8W、寸法は 430×340mm、重量は 10kg、正価は ¥10,300。



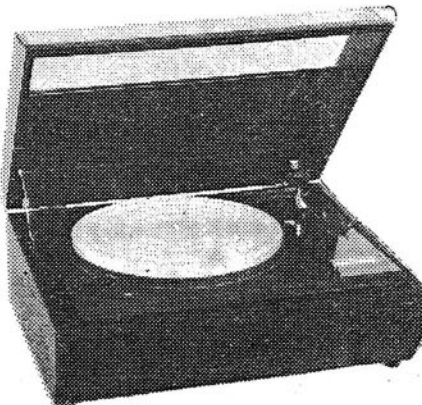
●プレーヤー “KL-88H”

高性能ビスコースダンプのアームに、特性の優れたムービング・マグネット型のステレオ・カートリッジをつけたもので、針先は 0.7ミルのダイヤモンドを使っている。ワウは 3kc にて 0.20%、S/N 比 -40dB、周波数特性 30~18,000c/s、出力 10mV、負荷抵抗 80kΩ、クロストーク -22dB、針圧は 3~5gr である。外形寸法は横 500×奥行 390×高さ 225mm で、重量は 9.5kg、正価は ¥32,500 となっている。



●プレーヤー “KL-1000”

本機はシンクロナ・モーターの一種であるヒステリシス・モーターを使用しており、ステレオ再生に威力を発揮するパーフェクト・バランス型のアームを取付けたプレーヤー・ユニットである。但しカートリッジはついていない。ワウは 3kc にて 0.15%、S/N 比は -45dB、消費電力 10W、ターンテーブルは直径 30cm のジュラ鋳物製で、その重量は 1.5kg である。外形寸法は横 510×奥行 410×高さ 240mm で、重量は 13kg、正価は ¥32,500。



(名古屋市北区城東町 6 の 144)

Tel: 4-8576)

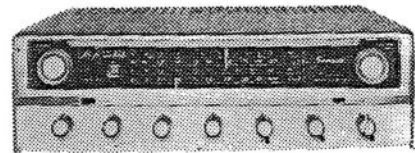
ケイエス商事 K. K. (総発売元)

山水のステレオ・アンプ “SM-18”

家庭用として好適なステレオ総合型アンプで“ファミリア SM-18”と呼ばれるものである。家庭用として最適の 10W-10W の出力で、音を小さくしぼっても十分に臨場感を出せるようにラウドネス・コントロール装置もついている。また整流回路にはシリコン・ダイオードやセレン整流器が使われているため、アンプ内容での温度上昇などによるトラブルもない。チューナー部はラジオの立体放送はもちろん、短波放送、FM 放送まで受信できるようになっている。さらにレコード、テープなど各種のプログラム・ソースの消化ができるトランジスター・プリアンプも組込まれている。

使用真空管は 6AQ8×4, 6BE6×2, 6BA6×4, 6BM8×4, 6GE12A×1 に、トランジスター 2SB51×4, ダイオード 0A79×4, SE-05A×2 となっている。メインアンプ部の特性は最大出力 10W-10W、周波数特性 30~70,000c/s (-1dB)、歪率 1% 以下 (出力 8W にて)、出力インピーダンス 8, 16, 32Ω となっている。プリアンプ部は入力が Phono (MAG, X-TAL), Tape, Mic, Aux の 5 種類で S/N 比は 55dB 以上 (Tape 端子にて)、イコライザーは NF 型、トーン・コントロールは CR 型ラウドネス・コントロールはスイッチによる切換方式である。チューナー部は AM の方は Ch. 1 が 535~1605kc と 3.5~10Mc の 2 バンドで、Ch 2 は 525~1605kc のシングル。FM は 80~108Mc で帯域幅は 200kc (-3dB)、電氣的忠実度は 30~15,000c/s (±2dB)、歪率 0.5% (4,000c/s, 30%, 60dB) である。

外形寸法は幅 438×奥行 335×高さ 134(mm) で、重量は 14kg である。小売価格は ¥26,900。

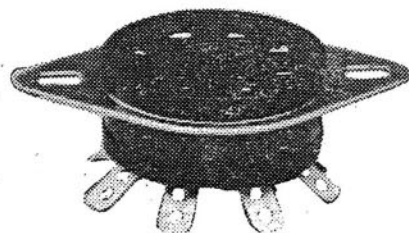


(東京都杉並区和泉町 460 Tel: 328-0111)

山水電気 K. K.

QQQ のソケット #318S

本製品は従来のオクタル・ベースのソケットと同じ大きさで、内部にスイッチを内蔵している画期的なものである。プラグを挿入するとピン No. 1~8 間のスイッチ回路がオープンになるようにできている。テレビ、ラジオ、テープレコーダー、映写機、スライド等のリモコン化などに最適である。ピンサークルおよびキー穴寸法は JIS C7006、接触抵抗は 2.5V 1A にて接触片 10mΩ 以下、スイッチ 1mΩ 以下。





絶縁抵抗は 1000 MΩ 以上 (500 V), スイッチ定格は AC 100 V 2 A, AC 200 V 1 A.

(東京都大田区大森 2-181 Tel: 761-0039)

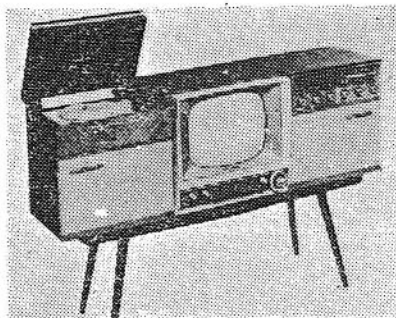
中央無線 K. K.

サンヨーの新製品 4 種

●ステレオビジョン 6 点セット

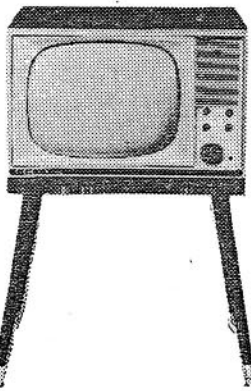
本機はステレオ装置 STV-280 (5 点組合せ) と 14 型テレビとを組合せたものである。ステレオ部のうち、チューナーつきアンプ STV-280R は 9 球の 2 チューナーつきステレオ・アンプで、チューナー部は右チャンネルが 535~1605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンドで、左チャンネルは 535~1605 kc のシングル・バンドである。電気的出力は無歪で 1.5+1.5 W, 最大 2.4W+2.4W である。この部分の外寸法は幅 400×高さ 140×奥行 300 (mm) である。スピーカー・システム STV-288 には 16 cm レッドコーン (VC インピーダンス 4 Ω) のスピーカーが入っており、再生周波数は 75~9000 c/s である。1 個の外寸法は幅 400×高さ 270×奥行 300 (mm) である。プレーヤー部 STV-280P は 4 スピードで、モーターはインダクション・タイプ、ターンテーブルは直径 16.5 cm である。ピックアップはステレオのクリスタル・ターンオーバー式のものである。外寸法は幅 400×高さ 140×奥行 300 (mm) である。

テレビ部 14-S1A 型は幅 450×奥行 400×高さ 40.5 (mm) のキャビネットに収められており、音声出力は無歪で 1.2W, スピーカーは 10×15 cm 楕円型のものを使っている。ブラウン管は 14WP4 (14 型静電集束、メタルバック、90° 偏向) で、使用真空管は 16 球である。現金正価は STV-280 (5 点) が ¥36,000 で、14-S1A は ¥53,000。



●14 型テレビ "14-L2"

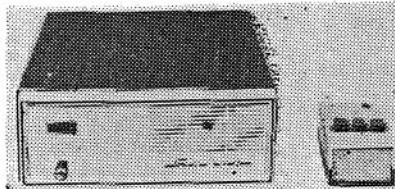
コンソレット・タイプの受像機で、チューナーには高感度管 4R-HH2, 5M-HH3 を用いている。スピーカーには 9 cm×13cm 楕円型 (VC インピーダンス 31 Ω) が使われている。音声出力 2 W (至率 10%), 消費電力は 130 W。使用真空管



はブラウン管ともて 17 球。電源回路には内部抵抗が少なく、レギュレーションの優れたシリコン整流器が使われ、安定な受信が行われるようになっている。外寸法は幅 470×高さ 335×奥行 414 (mm) で、重量は 15 kg である。現金正価は ¥47,000。

●超音波リモコン "TC-4"

テレビの遠隔操作としては高級なリモコン装置で、3 種類の超音波により ①電源の ON-OFF, ②音量調節, ③チャンネルの切替を行うことができる。ワイヤーでは操作距離が短かく、光のリモコンは間に障害物があるとうまくないが、超音波の場合はその届く範囲 (約 7m) であればどこからでも操作することができる。また特にこれをリモコン取付可能なサンヨー電子同調テレビと併用すれば AFT, ABC 装置の働きにより微同調、輝度コントラストが自動調節されているのだから、すべての操作が自動化されるわけである。また地域により放送のあるチャンネルだけに停止して、不要チャンネルは飛越してチューナーを廻りさせることもできる。消費電力は 40 W。現金正価は ¥23,000。



●ワイヤー・リモコン "TC-5"

これはもっとも簡単な方式のもので、同社のリモコン装置取付可能なセットに組合せると次の 4 つの操作ができる。つまり ①電源の ON-OFF, ②音量の調節, ③チャンネルの切替, ④イヤホン接続などである。これは前記 TC-4 と同様に放送のあるチャンネルだけに止めるようにすることが

できる。現金正価は ¥3,900。

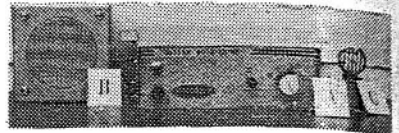
(大阪府守口市京阪本通 2 の 18)

三洋電機 K. K.

マジマ・声も出せるオートチャイム

前に K. K. マジマの製造で日産自動車 K. K. が発売した、自動車のフラッシャー (方向指示器) に連動して警笛の代りにオルゴールの音を出すというオート・チャイムを紹介したことがあるが、今度はこれにもう一つハンドルについているスイッチを押して「ちょっと、うしろに自動車がきてますよ」というようなことを運転車がしゃべれば、前を歩いている行人に注意を促すことができるというものである。本機は前から作られているオート・チャイムの本体と、マイク、スピーカーから成立している。スピーカーは自動車の前方、本体は運転者席のところ、マイクはハンドルに取付けられる。電源は自動車のバッテリーから簡単にとれる。本体は声と音楽を拡声するトランジスター・アンプと、モーターで廻らせて音楽を奏でるオル

ゴールとそれを電磁的にピックアップする装置とから成っている。本体の外寸法は 200×130×70 (mm) で、重量は約 2 kg である。価格は 1 組が ¥22,000 で全国の日産自動車販売などから市販されることになっている。



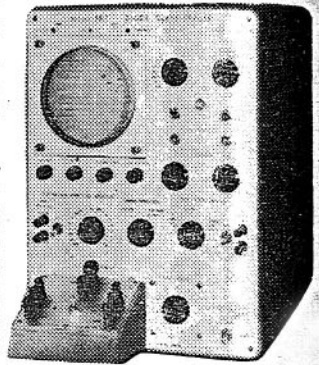
(東京都杉並区久我山 2-561 Tel: 391-6716)

K. K. マジマ

菊水の新製品 2 種

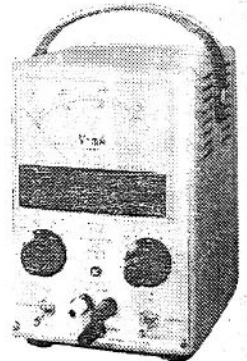
●ダイオード・カーブ・トレーサー "587"

ゲルマニウムまたはシリコン・ダイオードのように整流作用を示す試料の正方向および逆方向特性をブラウン管面にトレスする装置で、電圧軸は 0.1 V/Div より 0.001 mA/Div の最高 2000 V ピーク、精度は 3%。電流軸は 0.001 mA/Div より 1000 mA/Div の最高 10 A ピークまで、(精度は 3%) の広範囲な測定ができ、照明された 10 分割の目盛上に簡単な操作で求めることができる。なお、各種の保護回路があり、試料ならびに本機の損傷を未然に防いでおり、電源は安定化され、補正および較正はパネル面で簡単に行うことができる。外寸法は幅 320×高さ 445×奥行 580 (mm) で、重量は 29.3 kg である。



●トランジスター式直流低電圧安定化電源 "713"

本機はトランジスター化した、出力 0~35V, 出力電流 0~350 mA の小容量の直列型定電圧電源で、小型軽量ながら大型の電圧・電流計をもち、トランジスター回路の実験用に好適である。また、動作確実な短絡電流制限回路を備え、短絡状態が終れば自動的に復帰するものである。出力電圧は 0~5/5~10/.../30~35 V で、出力電流は連続的に 0~350 mA まで変化できる。リップルは 2.5 V, 0 mA 最大 5 mV (P-P), 32.5 V 350 mA 最大 5 mV (P-P)。安定度は電流電圧の ±10% 変動に対して ±50 mV, 出力電流の 0~100% 変化に対して ±(0.5%+50 mV) である。外寸法は最大部をとって、幅



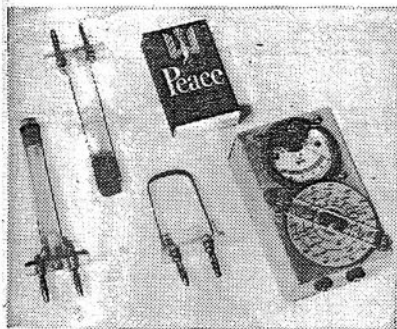
160×高さ 213×奥行 150 (mm) で、重量は 4.4 kg である。

(東京都大田区馬込西 4-67 Tel: 771-9191)

K. K. 菊水電波

ワコーの吸収型波長計 “WS-108”

一般のアマチュアラジオマン、また技術者の養成機関などで使うのに適当な簡易型の波長計である。用途としては共振周波数の測定、受信機の単一調整、電界強度の測定、アンテナの測定および指向性などの測定、送信機の寄生振動の周波数、送信機のタンク・コイルの調整などで、また同社の 8 号機と組み合わせるとインダクタンスも読み取れるようになっている。付属のコイルは 5 本で、周波数測定範囲は ① 420 kc~1.2 Mc, ② 1.2 Mc~3.5 Mc, ③ 3.5 Mc~10 Mc, ④ 10 Mc~30 Mc, ⑤ 28 Mc~100 Mc となっており、外形寸法は 40×60×100 mm (タバコの“いこい”の 2.5 倍ぐらい) で、重量は 347 gr という小型なものである。なお、アマチュア用のコイルとして、① 1.5~3 Mc, ② 3~15 Mc, ③ 15~30 Mc, ④ 30~150 Mc があり、コイル径は細く長いためセットの測定困難なところでも測定できる。プロ用としては ① 300 kc~1.5 Mc, ② 1.5~3 Mc, ③ 3~15 Mc, ④ 15~30 Mc, ⑤ 30~150 Mc があり、コイルがじかに手にふれないようになっており、長年使用しても周波数の変化はない。性能の誤差は ±5% である。



(東京都品川区東大崎 5 の 6

Tel: 491-8247)

K. K. 和光電機製作所

ナショナルの新製品 4 種

●トランジスター式テープレコーダー “RQ-114”

オール・トランジスター式の携帯用テープレコーダーで、交流バイアスを使い、2 スピード (9.5 cm/秒 と 4.75 cm/秒)、使用テープは 3 号 ナショナル・ゴールデン・テープ で録音時間は最大 1 時間というものである。音質調整装置もあり、この種の小型機には珍らしく早送り機構もついており、早送り時間は 7 分 30 秒以内、巻戻し時間は 2 分 30 秒以内となっている。使用トランジスターは 2SB175×2, 2SB172×3 の計 5 石で、定格出力は 100 mW である。消去方式は直流バイアス法で、周波数範囲は 9.5 cm/秒のとき 200~5000 c/s, 4.75 cm/秒のとき 200~3000 c/s となっている。録音レベル指示には VU メーターが使われている。これは再生時には電池の消耗度を見ることのできるものである。入力インピーダンスは 100 kΩ (不平衡)、出力インピーダンスは 10 Ω (不平衡)

となっている。使用スピーカーは 6.5 cm 型。

本機にはテープの起動、停止を遠隔操作できるリモコン・マイクが付属していて、テープを経済的に使うことができる。なお、別に売出している交流電源アダプターを使用すれば交流からの使用も可能である。使用電池はアンプが単三×6 (9 V)、機構部は単三×5 (9 V) で、連続使用でアンプ部は 20 時間、機構部は 5 時間である。外形寸法は幅 187×奥行 182×厚さ 53 (mm) で、重量は電池別で 1.5 kg である。現金正価は ¥ 34,800。

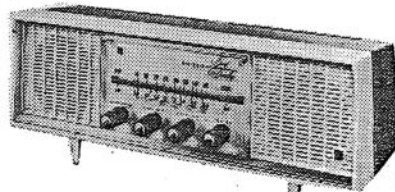


(大阪府北河内郡門真町)

松下電器・録音機事業部

●2 バンド・ルーム・ラジオ “BX-420”

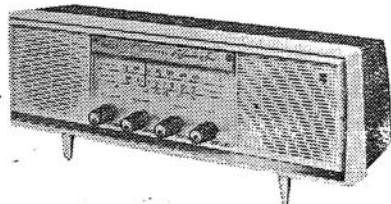
受信周波数帯は 535~1605 kc, 3.75~12 Mc の 2 バンド・ラジオで、使用真空管は 12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 35W4 の 5 球スーパーである。感度は MW バンド、SW バンドとも 50 μV/50 mW。電氣的出力は無至 1.2 W, 最大 1.5 W である。使用スピーカーは 10 cm 型 2 個、消費電力は 23 VA である。イヤホン端子は 2 個あり、他にプレーヤー、FM チューナーもつなげるピックアップ端子もついている。外形寸法は幅 458×高さ 135×奥行 150 (mm) で、重量は 2.65 kg。現金正価は ¥ 7,750。



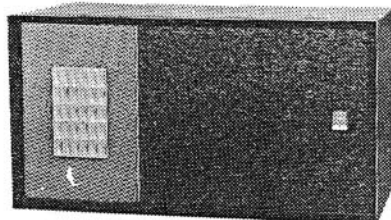
●2 バンド・ルーム・ラジオ “BX-425”

受信周波数帯、使用真空管、スピーカーなどはほとんど前記の BX-420 型と同じであるが、型はややこの方が大きく、外形寸法は幅 458×高さ 163×奥行 153 (mm) となっている。現金正価は ¥ 8,150。

●2 ウエイ閉閉型 SP システム “SPS-80”



これは縦型でも横型でもどちらにも使えるスピーカー・システムである。中には低音用として 20 cm ウーファー “W-831S” が、高音用としてホーン型トゥイーター “HT-311S” が入っている。再生周波数範囲は 60~16,000 c/s で、許容入力 8 W。VC インピーダンスは 16 Ω。クロスオーバー周波数は 3,000 c/s である。形状は幅 600×高さ 330×奥行 280 (mm) で、重量は 5.3 kg。



(大阪府北河内郡門真町 Tel: 99-1151)

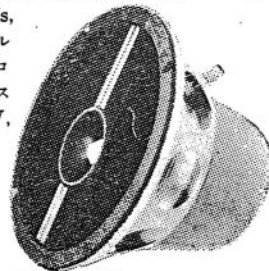
松下電器・ラジオ事業部

コーラルの新製品 3 種

●20 cm コアキシャル “8CX-7”

40 c/s の低音まで再生する 20 cm ウーファーと 20,000 c/s 以上の高音まで出るスーパーホーン・トゥイーターを組合わせたものである。最低共振周波数は 55±10 c/s, クロスオーバー周波数は 4,000 c/s,

出力音圧レベルは 104 dB, プログラム・ソース入力は 15 W, 公称入力は 10 W, VC インピーダンス 16 Ω である。価格は ¥ 4,600。



●ダブルコーンスピーカー

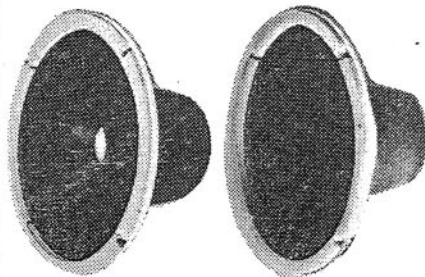
“8A7” “6A7”

8A7 型は 20 cm, 6A7 は 16 cm のもので、その主な規格は下記のとおりである。

	[8A7]	[6A7]
再生周波数	50~1600 c/s	60~16,000 c/s
f ₀	60 c/s±15	70 c/s±15
出力音圧レベル	98 dB	96 dB
公称入力	3 W	1.5 W
プログラム ソース入力	8 W	5 W
VC インピー ダンス	8 Ω, 400 Ω	8 Ω, 400 Ω
小売正価	1,900 円	1,150 円

[8A7]

[6A7]



(東京都北区堀船 3 の 25)

福洋音響 K. K.